

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 3 月 9 日作成)

小委員会名	広域避難小委員会	主 査 名：糸井川 栄一 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会	委員長名：山田 常圭 主 査 名：
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	地震火災リスクが厳然たる事実として存在することを前提とした広域避難に関して再考し、今後の広域避難計画のあるべき姿について検討を行う ・特に現代都市における地震火災による広域避難リスクの分析 ・災害事例における延焼火災による死因の再分析 ・行政が策定する広域避難計画の問題点の整理 ・を論じることが目標である。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：あり 主査：糸井川栄一 (筑波大学) 幹事：加藤孝明 (東京大学)、岩見達也 (国土交通省国土技術政策総合研究所) 廣井悠 (名古屋大学) 委員：関沢愛 (東京理科大学)、室崎益輝 (関西学院大学)、吉川仁 (防災アンド都市づくり計画室)、西田幸夫 (埼玉大学)、江田敏男 (建築ピボット)、竹谷修一 (国土交通省国土技術政策総合研究所)、梅本通孝 (筑波大学)、大佛俊泰 (東京工業大学)、市古太郎 (首都大学東京)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2014 年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/bouka/s2/hinan.htm

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	1. PD「マルチハザード下の広域避難とは」 参加者数 45 名 資料名：同上
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 公開小委員会を年 5 回程度開催し、2011～2013 年度の議論を深めるとともに、下記について研究を進める。 ・「広域避難」に関する論点の整理、体系化のための議論 ・広域避難体系に関する課題と提言に関する取りまとめ 【達成度】 大会において PD を開催し、聴取者約 100 人を集めて、活発な議論が行われた。特にマルチハザード下の広域避難としてどのような問題点、課題が顕在化する可能性があるかについて、対応範囲の広がりに対する対応の必要性が確認された。また、人的被害の平均値による議論ではなく、分布の裾野としての過酷災害の可能性に関する分析の必要性が確認された。 2. 2011～2013 年度及び 2014 年度前半の成果をもとに大会において PD を開催するとともに、研究成果の積極的な公表に努める。 【達成度】 12 月までに 4 回の WG を開催し、地震火災からの広域避難におけるリスク評価に関する近年の研究事例をサーベイ・整理するとともに、マルチエージェントシミュレーション等による避難リスク評価モデル等の構築手法とそのシミュレーション結果について議論、情報交換した。 今後、広域避難時の避難リスクに関する積極的な学術的公表の必要性を確認した。
委員会活動の問題点・課題	1. マルチハザードを考慮した市街地火災からの広域避難で考慮すべき要因の体系化 2. マルチハザードを考慮した市街地火災からの広域避難時の避難リスクの評価手法の構築 3. 避難リスク軽減のための対策の検討と効果計測手法の構築